

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第39回（平成29年度第5回）理事会議事録

日 時：平成30年2月8日（木） 13：00～17：00

場 所：広島大学東京オフィス

東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター（CIC）409号室

出席者：檜山英三（理事長・第61回学術集会会長）

堀部敬三（副理事長）

足立壯一、天野功二、井上雅美、今泉益栄、大植孝治、大賀正一、小野 滋、木下義晶、
副島俊典、田尻達郎、田中祐吉、堀 浩樹、真部 淳（以上理事）

小林正夫、仁尾正記（以上監事）

細井 創（第60回学術集会会長）

欠席者：上條岳彦、上別府圭子、西川 亮（以上理事）

菊田 敦（理事・第62回学術集会会長）

議 長：檜山理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は19名中15名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者承認の件

真部庶務・財務委員長より、資料をもとに、入会申請者27名が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

2. 会員資格継続申請者の件

真部庶務・財務委員長より、資料をもとに、会員資格継続申請者1名が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

3. 名誉会員推戴の件

議案に関連する堀部理事が離席された後、真部庶務・財務委員長より、資料をもとに、名誉会員推戴者4名が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。審議の後、堀部理事は席に戻り、続く審議事項に入った。

4. 小児血液・がん指導医認定の件

井上専門医制度委員長より、小児血液・がん指導医への認定申請者2名に関して、専門医制度委員会にて提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場

にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

5. 2年連続社員総会欠席評議員の資格審査の件

木下評議員等資格審査委員長より、2年連続社員総会欠席評議員4名の評議員資格について、委員会にて審議されたことが報告され、審議結果が以下のとおり報告された。

- ・2名は、欠席理由を正当な理由と認め、資格継続とする。
- ・1名は、欠席理由が留学であり、留学期間の上限は検討が必要であるが、今回は資格継続とする。
- ・1名は、欠席理由が体調不良であり、今後の社員総会出席も困難と考えられるため、資格喪失と判断する。

以上の審議結果について、議場に承認が求められたところ、2名の資格継続、および、1名の体調不良による資格喪失については、意義なく承認された。欠席理由が留学の1名について、議場にて以下の討議がなされた。

- ・評議員資格喪失に関する定款施行細則第3条は、社員総会への出席を促すことを目的としている。
- ・社員総会に出席することは評議員の義務と考えられる。
- ・2年間で4回社員総会が開催されており、1回の出席は困難ではないと考えられる。
- ・留学は突発的な要件ではなく、社員総会に出席できなくなることが十分に予想できたと考えられ、当該評議員は休会や評議員を辞退することが自然と考えられる。

以上の討議の結果、留学は正当な理由と認めず、資格喪失とすることとなった。また、資格喪失者への通知には再申請も可能であることを付記することとする。

6. CLICの平成30年度開催予算について

大植教育・研修委員長より、平成30年度CLIC開催に係る収支予算案が示され、説明がなされた。日本緩和医療学会担当者と開催費用の負担配分について検討し、日本緩和医療学会がファシリテーターの旅費を負担し、その他の開催費用は本会が負担することとなったことが説明された。日本緩和医療学会と予算配分については、開催後の反省会にて再度話し合う予定である。

議場に収支予算案の承認が求められたところ、事務委託費の内訳を確認することとし、承認された。

また、大植教育・研修委員長より、第2回研修会の開催可否について、議場に意見が求められたところ、第1回研修会開催後に、参加人数や開催状況から判断することとなった。

7. 日本癌治療学会よりAYA世代がん診療検討委員会への参加要望の件

議長より、資料もとに、日本癌治療学会AYA世代がん診療検討委員会に、本会からの委員参加要望があったことが説明され、本会の長期フォローアップ・移行期医療委員が参加することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

8. 日本癌治療学会より領域横断的癌取扱い規約検討委員会へのご参加のお願い

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、小野診療ガイドライン委員長が参加することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

9. 先天性骨髄不全症診療ガイドライン2017出版契約書（診断と治療社）について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、議場にその契約について承認が求めら

れたところ、全員異議なく承認された。

10. 日本小児科学会より患者レジストリ及びコホート研究調査要望について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、議場にて討議がなされたところ、学会の疾患登録事業に関する報告書を提出することとなった。

11. 日本小児科学会より 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制学術連合体（コンソーシアム）について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、議場にて討議がなされたところ、「学会として協力できる事案が想定できない」と回答することとなった。

12. 第 59 回学術集会優秀ポスター賞について

田尻学術集会プログラム委員長より、標記事項について、資料をもとに 16 名の候補者が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

13. 急性リンパ性白血病の MRD 検査施設の認定制度について

今泉保険診療委員長及び堀部学術・調査委員用より、資料をもとに、「免疫遺伝子再構成を利用した定量 PCR 法による微小残存腫瘍（MRD）の測定」の平成 30 年度保険収載に向けて、学会で MRD 検査施設の認定制度を構築することについて説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、保険診療委員会が管轄することとして承認された。精度管理委員会を、保険診療委員会の下部組織として立ち上げる方向で、今後の体制を保険診療委員会にて検討する。

14. 日本医師会の治験候補薬の推薦について

今泉保険診療委員長及び堀部学術・調査委員長より、ソラフェニブを治験候補薬として学会から推薦することについて説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

15. 小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン 2016 年版からの転載の件

小野診療ガイドライン委員長より、標記事項について、製薬会社より、MR への説明会スライドへの利用を目的として、転載要望があったことが説明された。診療ガイドライン委員会にて審議した結果として、利用料を請求することが提案され、議場にその承認が求められたところ、討議がなされ、日本血液学会の営利目的利用転載への対応を確認した後、本会の対応を検討することとなった。

16. ホームページ英文ページ校正について

議長より、資料をもとに説明がなされ、議場にて校正内容について確認がなされた後、議場にその公開について承認が求められたところ、堀国際委員長が最終確認した後、公開することとして承認された。

17. 学術集会演題募集に際しての倫理的配慮に関する規程について

今泉倫理副委員長より、標記事項について、倫理審査に関する設問を学術集会演題登録の冒頭に配置することについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

18. 「ゴールドリボンウォーキング 2018」後援について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

真部庶務・財務委員長より、現在の会員状況について、資料をもとに報告がなされた。

2. 学術集会・プログラム委員会報告

田尻学術集会・プログラム委員長より、昨年 11 月に学術集会プログラム委員会が開催されたことが報告された。

3. 研究審査委員会報告

議長より、資料をもとに、研究審査状況が報告された。

4. 学術・調査委員会

堀部学術・調査委員長より、新規疾患登録事業の進捗状況について、以下の報告がなされた。

- ・2018 年 6 月 1 日より統合学会登録システム利用開始となる。
- ・血液腫瘍登録の病名を白血病・リンパ腫委員会にて検討している。
- ・新規登録システムについて、JSPHO ニュースにて会員に周知する。
- ・研究計画書を 3 月末までに完成させ、4 月より各登録参加施設に各施設任意で倫理審査実施のお願いをする予定である。

木下学術・調査副委員長より、新疾患登録事業の固形腫瘍分野の進捗状況について、資料をもとに、連携システム構成及び開発スケジュールについて説明がなされた。また、日本小児外科学会では、5 月の学術集会にて、新規登録システムについて周知されることが報告された。

議場より、新規統合学会登録システムの正式名称を検討し、登録システムに明示すべきとの意見があり、委員会にて検討することとなった。

また、議場より、本研究については、プロスペクティブな研究であり、過去の研究データについては、データ収集時の担当学会に帰属することを確認すべきとの意見があり、委員会で検討することとなった。

さらに、議場より、インフォームド・コンセントの方法について質問があり、木下副委員長より、同意書をとることが報告された。

5. 疾患委員会

足立疾患委員長より、資料をもとに、日本遺伝学会が発行した「遺伝単」にて、遺伝学用語「優性」を「顕性」に、「劣性」を「潜性」に変更する案が示されたことが報告された。

6. 教育・研修委員会

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、以下の報告及び討議がなされた。

- ・2018 年度教育セッションの講師 6 名が決定したことが報告された。また、6 月 17 日の社員総会時

教育セミナー講師については選定中である。

- ・各地区のセミナーについては、各地区担当者より、1回の開催予算10万円が少ないとの意見が出ており、開催数・開催地域の削減を視野に入れている。

議場より、各地区のセミナーについては、地域ごとに予算を設定し、傾斜配分をしてでも、全国的な開催をすべきである、との意見があり、議場より以下の討議がなされた。

- ・地域によって、研修内容の充実性に差があると思うので、是正する方向で検討していただきたい。
- ・東北地域では研修内容の充実性を高めようと動いているが、10万円の予算では困難である。

討議の結果、教育・研修委員会にて、新委員会発足後、今後の方向性を検討することとなった。

また、大植教育・研修委員長より、CANCER e-LEARNINGについて、4月1日より施行予定で準備を進めていることが報告された。

7. 社会・広報委員会報告

大賀社会・広報委員長より、学会ホームページの「こどもの血液・がんの病気とは」ページについて、委員会にて内容検討中であることが報告された。

8. 保険診療委員会

今泉保険診療副委員長より、資料をもとに、小児医薬品開発ネットワーク事業について、難治性AMLに対する分子標的療法薬剤の知見について検討されていることが報告された。

9. 国際委員会

堀国際委員長より、資料をもとに、以下の報告がなされた。

- ・KSPHOの役員が交代した。

- ・学会ホームページ英文ページの校正をしたため、ホームページ公開を予定している。

また、堀国際委員長より、以下の審議要望がなされた。

- ・KSPHOとの研究者交流事業について、テーマを「脳腫瘍」とすることについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

- ・2018 KSPHO meetingのテーマについて、「Primary Immunodeficiency」議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。演者については、疾患委員長から依頼する。

- ・SIOP日本開催について、「一日参加証」を現地で販売予定だが、SIOPのHPではその情報が掲載されないため、学会HP及び会員メール配信で、会員に周知することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

10. 長期フォローアップ・移行期医療委員会

檜山長期フォローアップ・移行期医療委員長より、資料をもとに、第2回研修会を2月24日(土)～25日(日)に開催すること、及び、今後の開催計画が報告された。

議場より、長期フォローアップ体制整備事業の一環として、教育セミナー等の新規事業を検討してはどうかとの意見があり、今後委員会で検討することとなった。

11. 第60回日本小児血液・がん学会学術集会

細井会長より、準備状況について、以下の報告がなされた。

- ・ 宿泊申込を開始している。
- ・ プログラム概要について説明がなされた。
- ・ 2日目の朝8時から社員総会開催を予定。
- ・ 酒井敏行先生（京都府立医科大学）の特別講演を予定
- ・ 小川誠司先生（京都大学）の特別講演を予定。
- ・ 鈴木康裕氏（厚生労働省）の講演を予定。

また、議場より、学術集会会告の学会誌への掲載時期に関する確認があり、学会誌編集事務局に確認し、学会誌への掲載を進めることが確認された。

12. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会

檜山次期会長より、学術集会運営会社について、コンベンションリンクージに連続して委託しているため、複数年契約でのコストダウン交渉をしていることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。